

CN・EV化等に係る成長産業推進事業 事業報告

富村哲也*, 中村創一*, 西村正彦*, 瀬戸彰文*

Report on Support Efforts toward Carbon Neutrality

Tetsuya TOMIMURA, Soichi NAKAMURA, Masahiko NISHIMURA and Akifumi SETO

1. はじめに

2020年10月に日本政府は、2050年までにカーボンニュートラル(CN)を目指すことを宣言した。その後、温室効果ガス削減目標を2030年度において2013年度比で46%削減とした。それ以降、大企業をはじめとする製造業もCN実現に向けたロードマップなどを公表する動きが加速化している。

三重県では、2023年3月に「ゼロエミッションみえ」プロジェクト推進方針を策定し、CN実現に向けた取組を進めている。本プロジェクトの関連事業である「CN・EV化等に係る成長産業推進事業」の取組を報告する。

2. 取組内容

CN実現に向け、県内企業のCO₂排出量削減や競争力強化を図るため、製造現場における具体的なCO₂排出量削減につながる手法などを学ぶことを目的として、以下の取組を実施した。

2.1 セミナー開催

工業研究所で開催したセミナーの概要を表1に示す。

第1回は、毎年秋に実施している工業研究所の事業成果発表会の中で、CNに関するテーマの特別講演を企画した。株式会社フルハシ環境総合研究所の中村晟一朗氏を講師に迎え、「カーボンニュートラルの最新動向～3Rを超えた循環経済サーキュラーエコノミーがカーボンニュートラルのカギを握る～」と題して、CNに関する最新動向や

サーキュラーエコノミーに関する動向を欧州の状況も含め講演いただいた。

第2回は、一般財団法人省エネルギーセンターエネルギー使用合理化専門員の石原敏嗣氏を講師に迎え、「省エネ説明会～製造業の省エネ取組～」と題して、CNの現状と省エネ技術、省エネ診断や改善事例の紹介などについて講演いただいた。

その後、経済産業省中部経済産業局より国におけるCNに係る政策動向と支援施策、NEDO支援制度について紹介いただいた。

2.2 見える化支援

CO₂排出量を把握するために電流センサーを製造現場に設置し、収集したデータからCO₂排出量を換算し、CO₂排出量削減に向けた課題の分析や具体的な改善策の検討ができるよう図1に示す機材等を令和5年度に導入した。これら機材を活用して、県内企業のCN実現に向けた取組を支援した。



図1 電力測定機器（電力ロガー）

* プロジェクト研究課

3. まとめ

カーボンニュートラル（CN）実現に向け県内企業の CO₂ 排出量削減や競争力強化が図れるよう、

次年度以降も導入した機材を活用し県内企業の取組を引き続き支援していく。

表 1 カーボンニュートラル推進セミナー開催結果

開催日	場所	内容	参加者
令和 6 年 9 月 13 日 13:00～16:30	工業研究所 ハイブリッド 開催	令和 6 年度三重県工業研究所事業成果発表会 【特別講演】 カーボンニュートラルの最新動向 ～3R を超えた循環経済サーキュラーエコノミーが カーボンニュートラルのカギを握る～ 株式会社フルハシ環境総合研究所 中村 晟一郎 氏	72 名
令和 7 年 3 月 11 日 13:30～15:10	工業研究所 ハイブリッド 開催	① 省エネ説明会 ～ 製造業の省エネ取組 ～ 一般財団法人 省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 石原 敏嗣 氏 ② 国における CN に係る政策動向と支援施策について 経済産業省 中部経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室 加藤 瑞樹 氏 ③ NEDO 支援制度について 経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 イノベーション推進課 中部 NEDO デスク 藤原 理佐 氏	20 名